

血液製剤廃棄率

●説明

当院における各血液製剤の使用量に対する有効期限切れ、使用期限切れ、破損等による廃棄が必要となった製剤の割合です。

●計算式

$$QI = \frac{\text{廃棄量}}{\text{使用量} + \text{廃棄量}} \times 100$$

●目標

赤血球、新鮮凍結血漿、濃厚血小板のそれぞれの廃棄率を0.5%以下とします。

●計画

赤血球、新鮮凍結血漿、濃厚血小板の過剰なオーダーを避けるよう適正使用の推奨を周知し、新鮮凍結血漿の破損を防ぐため職員へのフィードバックの徹底を行います。

●評価

全国の大学病院における2021年度の血液製剤の廃棄率の平均は赤血球0.6%、新鮮凍結血漿0.8%、濃厚血小板0.3%で、当院の廃棄率は血小板がやや平均を上回っておりさらに改善を行う必要があります。緊急での大量のオーダーの際には必要性について診療科において複数人で再検討してもらうことなどを検討します。

●実績

